

資 料

資料1 調査団員氏名、所属

(1) 基本設計調査

No	氏名	業務	所属
1	中村 明	総括	国際協力事業団 無償資金協力部監理課 課長代理
2	平石 一夫	技術参与	水産庁 漁政部国際課 海外漁業協力室 課長補佐
3	今村 誠	計画管理	国際協力事業団 無償資金協力部業務第四課
4	島津 康右	業務主任/ 水産養殖研究計画	CRC 海外協力株式会社
5	根本 雄二	研究機材計画	CRC 海外協力株式会社
6	元木 要	建築・設備計画/ 自然条件調査	CRC 海外協力株式会社
7	石井 優一	施工・調達計画	CRC 海外協力株式会社

(2) 基本設計概要説書案説明

No	氏名	業務	所属
1	中村 明	総括	国際協力事業団 無償資金協力部監理課 課長代理
2	馬場 学	技術参与	水産庁 資源管理部国際課海外漁業協力室 技術協力係長
3	今井 成寿	計画管理	国際協力事業団 国際協力総合研修所人材養成課
4	島津 康右	業務主任/ 水産養殖研究計画	CRC 海外協力株式会社
5	根本 雄二	研究機材計画	CRC 海外協力株式会社
6	元木 要	建築・設備計画/ 自然条件調査	CRC 海外協力株式会社

資料2 調査日程

(1) 基本設計調査

日順	月/日	曜日	官側団員	コンサルタント団員 A,B,C,D	宿泊地
1	1/29	月	(官側2名: 団長、調整員) 移動: 成田 マニラ 午後: 表敬訪問: 日本大使館 JICA フィリピン事務所訪問	官側に同行	マニラ
2	1/30	火	午前: 表敬訪問 農業省 次官 午前、午後: BFAR 訪問協議 インセプション、質問票説明 NEDA 訪問協議	午前: 官側に同行 午後: A: 官側に同行 B: 機材代理店訪問 C,D: 自然条件調査契約	マニラ
3	1/31	水	午前: 移動 マニラ イロイロ 午後: SEAFDEC/AQD 訪問協議 インセプション、質問票渡し説明、 日程協議 場内見学	官側に同行	イロイロ
4	2/01	木	SEAFDEC/AQD 実質協議 参加者: DA 2名、BFAR3名 スライド説明 インセプション、質問票をもとに協議	A: 官側に同行 機材要請内容確認 施設要請内容確認 自然条件調査準備	イロイロ
5	2/02	金	AM 要請内容の説明 PM ミニッツ内容協議 新規要請内容の話し合い	A: 官側に同行 B: 機材要請内容確認 CD: 施設要請内容確認 自然条件調査準備	イロイロ
6	2/03	土	ミニッツ準備 (水産庁平石氏到着) 団内打合わせ	A: 官側に同行 B: 機材関連調査	イロイロ
7	2/04	日	イガング海面養殖支所 ドゥマンガスイガン汽水養殖場訪問	A,B,D: 官側に同行 C: 資料整理	イロイロ
8	2/05	月	新規要請内容の話し合い PM ミニッツ内容協議 7PM ミニッツサイン DA, USEC, SEFADEC 所長	A: 官側に同行 B,C: 施設要請内容確認 D: 積算価格調査	イロイロ
9	2/06	火	移動: イロイロ マニラ		イロイロ
10	2/07	水	DA での話し合い、VAT 予算化 0:30PM ミニッツサイン BFAR 局長 日本大使館報告 植野一等書記官	マニラ: A: 官側に同行 D: 気象資料収集、積算資料収 集打ち合わせ イロイロ: B: 機材関連調査 C: 建築関連調査	マニラ イロイロ
11	2/08	木	JICA への報告 帰国: マニラ 成田	移動: A,D: マニラ イロイロ B: 機材関連調査 C: 建築関連調査	イロイロ

凡例 コンサルタント団員 A 業務主任者/養殖研究計画 B 研究機材計画
C 建築・設備計画/自然条件調査 D 施工・調達計画

基本設計調査（コンサルタント団員のみ）

日順	月/日	曜日	午前	午後	宿泊地
12	2/09	金	A,C,D：改修箇所点検 B：機材内容協議	A,D：漁業統計資料収集 B,C：改修・機材内容協議	イロイロ
13	2/10	土	団内打ち合わせ SEF サイト調査、港湾調査	C,D：自然条件調査管理	イロイロ
14	2/11	日	団内打ち合わせ	C,D：自然条件調査管理 全員：市内機材、電気店調査	イロイロ
15	2/12	月	SEAFDEC との週間日程調整 A：排水処理状況調査、聴取 B：電子顕微鏡等仕様協議	A：SEAF 経理担当者との話合 B：機材優先度見直しの協議 C,D：イロイロ市内積算調査	イロイロ
16	2/13	火	AB：トレーニング担当者状況聴取 C：発電機、配電状況調査 D：イロイロ市内港湾局訪問 A：会計状況調査	ABC：各研究室責任者と改修 項目の研究室毎の確認 D：イロイロ港湾、海上輸送 調査 / 自然条件調査終了	イロイロ
17	2/14	水	A,C：改修箇所確認 B：機器仕様協議 D：イロイロ市内陸送業者調査	ABC：各研究室責任者と改修 項目の研究室毎の確認 D：イロイロ市内陸送業者調査	イロイロ
18	2/15	木	現実験動物飼育室 使用状況調査 A：SEAFDEC/AQD 予算聴取	隔離飼育施設藻類設計協議 中間報告書作成	イロイロ
19	2/16	金	中間報告書渡し A,C：非常用発電機の現状、必要性 B：機器仕様調査 D：工事時宿泊施設調査	A,B,C：研究の必要性の確認 隔離飼育施設設計協議： 孵化、幼生池工事、研究スケジ ュール協議 D：飼育タンク製造業者調査	イロイロ
20	2/17	土	団内打ち合わせ	A,C：研究室改修箇所ビデオ B,D：飼育タンク製造業者調査	イロイロ
21	2/18	日	C,D：移動 11:50(イロイロ マニラ) A,B：収集資料の整理	A,B：調査未完了事項の確認 整理	マニラ イロイロ
22	2/19	月	A：場内全飼育池の飼育状況の調査 現地負担事項の積算、協議 B：既存機器の現状、今後の利用状 況の確認 C,D：積算関連調査、気象資料収集	A：現地負担事項の積算、協議 B：施設、機材の妥当性の確認 作業 C：現地建築業者調査 気象資料の収集	マニラ イロイロ
23	2/20	火	A：フィリピン大学バサ水産学部訪問 B：機材の最終確認 C,D 積算関連調査	現地負担事項の提出 SEAFDEC/AQD との最終協議 C,D：現地建築事情調査	マニラ イロイロ
24	2/21	水	A,B：移動 11:50 (イロイロ マニラ) C,D：積算関連調査 現地建築業者見積書回収	A,C,D：DA での協議 BFAR,SEAFDEC/AQD マニラ担当者参加 質問書への回答資料受領 B：機材代理店との話し合い	マニラ
25	2/22	木	A,D：自然条件調査委託先との最終 話し合い B：機材代理店調査 C：原子力研究所訪問	A,D：調査終了報告 大使館植野一等書記官 JICA 勝股担当官 B：機材代理店調査 C：建築資機材調査	マニラ
26	2/23	金	一般統計資料の収集及び資料整理	A,B,C,D：全員：帰国	

凡例 コンサルタント団員 A 業務主任者/養殖研究計画
C 建築・設備計画/自然条件調査

B 研究機材計画
D 施工・調達計画

(2) 基本設計概要書案説明

日順	月/日	曜日	行動予定		宿泊地
			官 団 員 3 名 (JICA2 名、水産庁 1 名)	コンサルタント 3 名 (A,B,C)	
1	5/27	日		成田 マニラ着 マニラ イロイロ移動	イロイロ
2	5/28	月	成田出発 マニラ着 大使館、事務所表敬	SEAFDEC/AQD 訪問 概要説明	イロイロ /マニラ
3	5/29	火	DA,BFAR,NEDA 表敬 概要説明	SEAFDEC/AQD 建築設備、機材協議	イロイロ /マニラ
4	5/30	水	マニラ イロイロ移動	SEAFDEC/AQD 建築設備、機材協議	イロイロ
			午後 SEAFDEC/AQD 説明 (コンサルタント参加)		
5	5/31	木	SEAFDEC/AQD にて協議 (コンサルタント A 参加)	SEAFDEC/AQD 建築設備、機材協議	イロイロ
6	6/1	金	SEAFDEC/AQD にて協議 ミニッツ内容確認 (コンサルタント A 参加)	フィリピン大学ミャーゴ施設 海洋学部訪問、調査船資料	イロイロ
				SEAFDEC/AQD 建築設備、機材協議	
7	6/2	土	イロイロ マニラ移動	イロイロ市内、港湾状況、 中央市場調査	イロイロ /マニラ
8	6/3	日	書類整理	概要報告書改訂部分検討	イロイロ /マニラ
9	6/4	月	前：ミニッツ確認 後：ミニッツサイン 夕：大使館報告	フィリピン大学リガネス施設 養殖研究状況調査	イロイロ /マニラ
				SEAFDEC/AQD 建築設備、機材協議	
10	6/5	火	前：JICA 事務所報告 後：水産庁団員及び JICA 団員 1 名帰国	協議内容最終確認 イロイロ マニラ移動	マニラ 帰国
11	6/6	水	団長帰国	BFAR 資料収集 DA 「比」国内申請資料協議	イロイロ 帰国
12	6/7	木		マニラ 成田	帰国

コンサルタント 3 名

A：業務主任 / 水産養殖研究計画

B：研究機材計画

C：建築・設備計画 / 自然条件調査

資料3 相手国関係者リスト

所属機関名・役職	氏名
農業省 (DA : Department of Agriculture)	
次 官	Mr. Cesar M. Drilon, JR.
プロジェクト推進局長	Ms. Cecilia Astilla
DA/PPRMD (Project Package and Resource Mobilization Division)	
PPRMD 課長	Ms. Zenaida M. Villegas
PPMRD	太田 孝弘 (JICA 専門家)
PPRMD アジア担当官	Ms. Susan de Guzman
DA/漁業水産資源局 (BFAR ;Bureau of Fisheries and Aquatic Resources)	
局 長	Mr. Malcom I. Sarmiento, Jr
計画課長	Ms. Cecilia G. Reyes
内水面漁業・養殖課長	Mr. Nelson A. Lopes
東南アジア漁業開発センター養殖部局 (SEAFDEC/AQD)	
局 長	Mr. Rolando R. Platon, Ph.D.
次 長	伊藤 進 (JICA 専門家)
研究部長	Ms. Clarissa L. Marte, Ph.D.
魚病専門家	乾 靖夫 (JICA 専門家) Ph.D.
工務部長	Mr. Salvador Rex A. Tillo
経理部、主任	Ms. Nelda R. Ebron
渉外部長 (マニラ)	Mr. C.V. Recio
研究部、研究員	Ms. Evelyn Grace T. de Jesus, Ph.D.
	Mr. Felix G. Ayson, Ph.D.
	Mr. Leobert D. de la Peña, Ph.D.
	Ms. Ann. Ponce, Ph.D.
	Ms. Maria Rovilla Luhan, Ph.D.
	Ms. Ilda Borlongan, Mas. of Sci.
	Ms. Nerissa Diaz Salayo, Ph.D.
工務部、建築技師	Mr. Noli L. Patino
国家経済開発庁 National Economic and Development Authority (NEDA)	
経済開発上級専門員	Ms. Rosalina G. Almendral
財務省通関局 (Department of Finance, Bureau of Customs)	
イロイロ港通関担当長	Ms. Sedy G. Pabiona
フィリピン大学水産学部	
リガネス汽水養殖センター	Prof. Liberato V. Laureta, Ph.D.
在フィリピン日本大使館	
一等書記官	植野 栄治
国際協力事業団 フィリピン事務所	
所長	小野 英男
業務班	勝又 晋

資料 4 当該国の社会・経済事情

フィリピン共和国
Republic of the Philippines

一般指標					
政体	立憲共和制	*1	首都	マニラ (Manila)	*2
元首	大統領/グロリア・アロヨ	*1,3	主要都市名	ダバオ、セブ、サンボアング	*3
独立年月日	1946年7月4日	*3,4	雇用総数	31,573千人 (1998年)	*6
主要民族/部族名	マレイ系、中国人、スペイン系	*1,3	義務教育年数	6年間 ()	*13
主要言語	タガログ語を基本とするフィリピン語、英語	*1,3	初等教育就学率	116.8% (1997年)	*6
宗教	カトリック83%、その他のキリスト教10%	*1,3	中等教育就学率	77.5% (1997年)	*6
国連加盟年	1945年10月24日	*12	成人非識字率	4.6% (2000年)	*13
世銀加盟年	1945年12月27日	*7	人口密度	252.12人/km ² (1998年)	*6
IMF加盟年	1945年12月27日	*7	人口増加率	2.5% (1980年)	*6
国土面積	299.40千km ²	*1,6	平均寿命	平均 68.60 男 66.80 女 70.50	*10
総人口	75,174千人 (1998年)	*6	5歳児未満死亡率	40/1000 (1998年)	*6
			カロリー供給量	2,366.0cal/日/人 (1997年)	*10

経済指標					
通貨単位	ペソ (Peso)	*3	貿易量	(1999年)	
為替レート	1 US \$ = 51.35 (2001年6月)	*8	商品輸出	34,207百万ドル	*15
会計年度	Dec. 31	*6	商品輸入	-29,245百万ドル	*15
国家予算	(1997年)		輸入カバー率	3.0(月) (1998年)	*14
歳入総額	470,105百万ペソ	*9	主要輸出品目	電子・電気機器、輸送用機器等	*1
歳出総額	467,319百万ペソ	*9	主要輸入品目	通信・電気機器、電子部品、発電用重電機	*1
総合収支	3,659百万ドル (1999年)	*15	日本への輸出	5,299百万ドル (1999年)	*16
ODA受取額	606.6百万ドル (1998年)	*18	日本からの輸入	8,742百万ドル (1999年)	*16
国内総生産(GDP)	65,106.61百万ドル (1998年)	*6			
一人当たりGNP	1,050.0ドル (1998年)	*6	租外貨準備額	10,788.9百万ドル (1998年)	*6
GDP産業別構成	農業 16.9% (1998年)	*6	対外債務残高	47,817.1百万ドル (1998年)	*6
	鉱工業 31.6% (1998年)	*6	対外債務返済率(DSR)	11.8% (1998年)	*6
	サービス業 51.5% (1998年)	*6	インフレ率 (消費者価格物価上昇率)	8.7% (1990-98年)	*6
産業別雇用	農業 男 47.6% 女 28.4% (1992年)	*6	国家開発計画		*11
	鉱工業 19.1% 12.7% (1992年)	*6			
	サービス業 33.3% 58.9% (1992年)	*6			
実質GDP成長率	3.3% (1990年)	*6			

気象 (1961年～1990年平均) 観測地: マニラ (北緯14度31分、東経121度00分、標高15m)														*4,5
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	平均/計	
降水量	14.6	3.8	5.2	10.2	113.3	257.1	306.3	377.1	300.9	223.3	109.4	48.1	1769.3 mm	
平均気温	25.5	26.0	27.5	29.0	29.4	28.4	27.7	27.3	27.7	27.2	26.9	25.9	27.4℃	

- *1 各国概況 (外務省)
- *2 世界の国々一覧表 (外務省)
- *3 世界年鑑2000 (共同通信社)
- *4 最新世界各国要覧10訂版 (東京書籍)
- *5 理科年表2000 (国立天文台編)
- *6 World Development Indicators2000
- *7 The World Bank Public Information Center, International Financial Statistics Yearbook 1998
- *8 Universal Currency Converter

- *9 Government Finances Statistics Yearbook1999 (IMF)
 - *10 Human Development Report2000(UNDP)
 - *11 Country Profile(EIU),外務省資料等
 - *12 United Nations Member States
 - *13 Statistical Yearbook 1999(UNESCO)
 - *14 Global Development Finance2000(WB)
 - *15 International Finances Statistics 2000(IMF)
 - *16 世界各国経済情報ファイル2000(日本貿易振興会)
- 注: 商品輸入については複式簿記の計上方式を採用しているため
支払い額はマイナス表記になる

	フィリピン共和国
	Republic of the Philippines

我が国におけるODAの実績		(資金協力は約束額ベース、単位：億円)					*17
項目	暦年	1995	1996	1997	1998	1999	
技術協力		74.63	78.51	75.82	77.83		
無償資金協力		103.23	107.31	105.43	61.11		
有償資金協力		1,485.44	1,242.80	0.00	1,570.11		
総額		1,663.30	1,428.62	181.25	1,709.05		

当該国に対する我が国ODAの実績		(支出純額、単位：百万ドル)					*17
項目	暦年	1995	1996	1997	1998	1999	
技術協力		114.43	94.34	89.25	80.68		
無償資金協力		121.08	91.14	68.21	78.34		
有償資金協力		180.62	228.96	161.51	138.54		
総額		416.13	414.45	318.98	297.55		

OECD 諸国の経済協力実績		(支出純額、単位：百万ドル)				*18
	贈与 (1) (無償資金協力・ 技術協力)	有償資金協力 (2)	政府開発援助 (ODA) (1)+(2)=(3)	その他政府資金 及び民間資金(4)	経済協力総額 (3)+(4)	
二国間援助 (主要供与国)	359.5	168.5	528.0	3,407.8	3,935.8	
1. Japan	159.0	138.6	297.6	947.7	1,245.3	
2. Germany	37.0	8.4	45.4	113.9	159.3	
3. Australia	45.0	0.0	45.0	18.8	63.8	
4. United States	49.7	-22.4	27.3	1,484.2	1,511.5	
多国間援助 (主要援助機関)	53.5	26.1	79.6	70.0	149.6	
1. EC			36.1	8.1	44.2	
2. AsDB			21.3	158.8	180.1	
その他			-0.9	0.0	-0.9	
合計	413.0	193.6	606.6	3,478.0	4,084.6	

援助受入窓口機関	*19
技術協力：国家経済開発庁 (NEDA) (National Economic Development Authority)	
無償：国家経済開発庁 (NEDA) (National Economic Development Authority)	
協力隊：国家ボランティア事業調整庁 (PNVSCA) (Philippine National Volunteer Service Coordination Agency)	

*17 我が国の政府開発援助1999(国際協力推進協会)

*18 International Development Statistics (CD-ROM) 2000 OECD

*19 JICA資料

資料 5 自然条件調査結果

II. RESULTS OF TEST

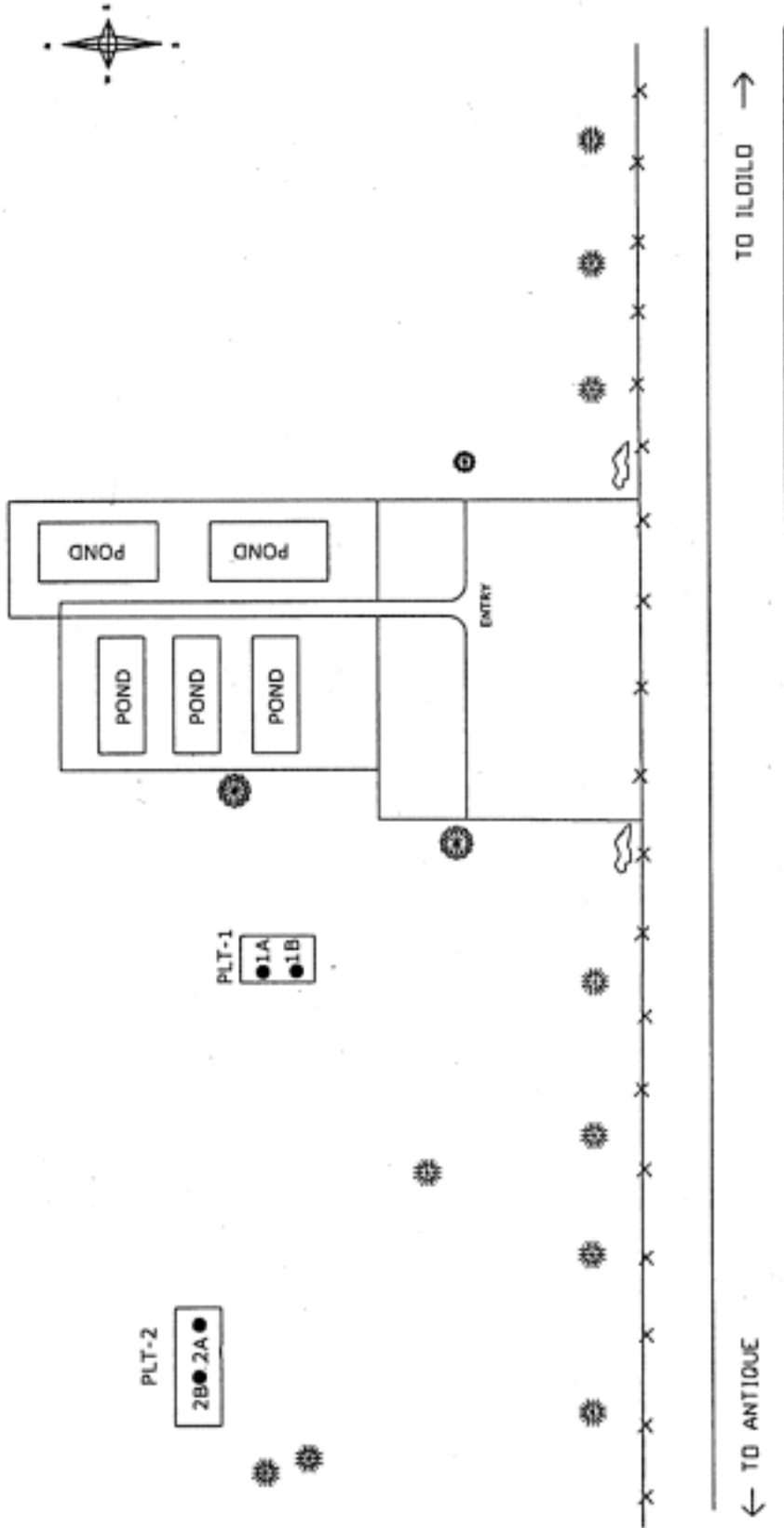
Data were plotted on settlement vs. time and settlement vs. pressure graph. Load test follows ASTM D1194 procedure for static load test for footing. Results of the test are as follows:

LOAD TEST NO.	MAX. PRESSURE (tons/m ²)	SETTLEMENT (mm)
PLT-1A	30.482	4.35
PLT-1B	30.482	5.25
PLT-2A	30.482	3.83
PLT-2B	30.482	6.01



DIOSDADO A. UREÑA C.E.
General Manager

Copy Number :	1408
Controlled :	<input checked="" type="checkbox"/>
Uncontrolled :	<input type="checkbox"/>



City Number : 6008
 Controlled : X
 Uncontrolled :

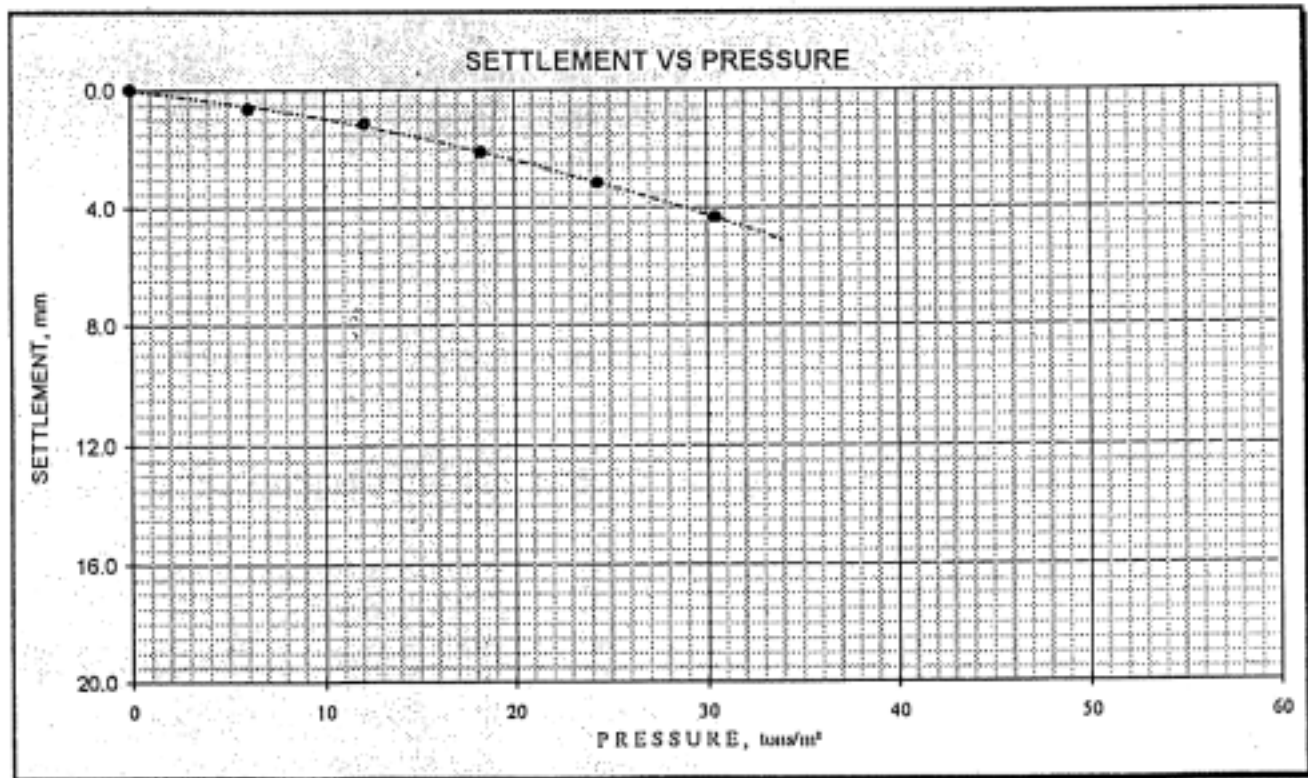
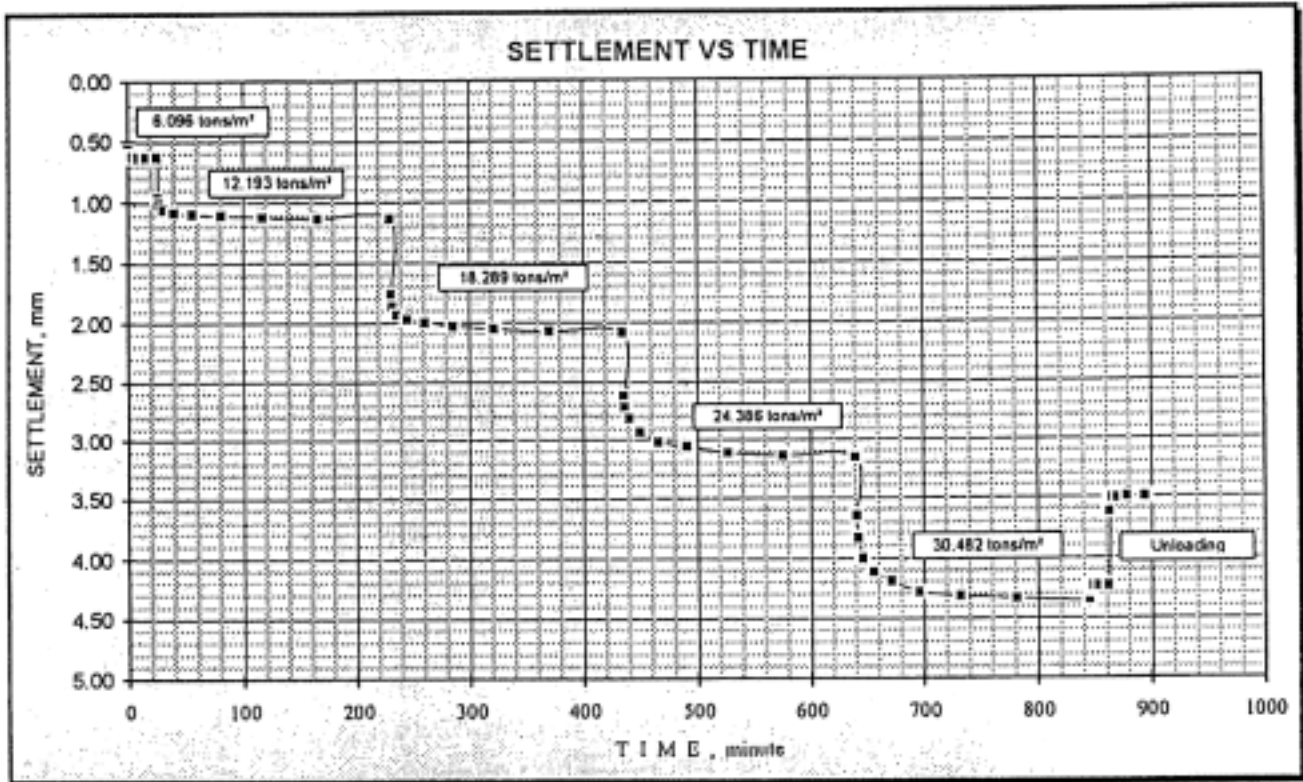
SHEET NO. 1/1
 ELIZABETH G. MERCADO
 LABORATORY MANAGER
 MA. ALICIA BARCELONA-ATOY
 QUALITY CONTROL MANAGER

CERTIFIED BY *[Signature]*
 DAMASINO ANTONIO JR.
 PROJECT SUPERVISOR
 EMILIO T. REBAYA
 GROUP MANAGER

PROJECT TITLE
PROPOSED SEAFDEC/AQD LABORATORY
 TIGBAUAN, ILOILO
 SHEET CONTENTS
 PLATE LOAD LOCATION PLAN

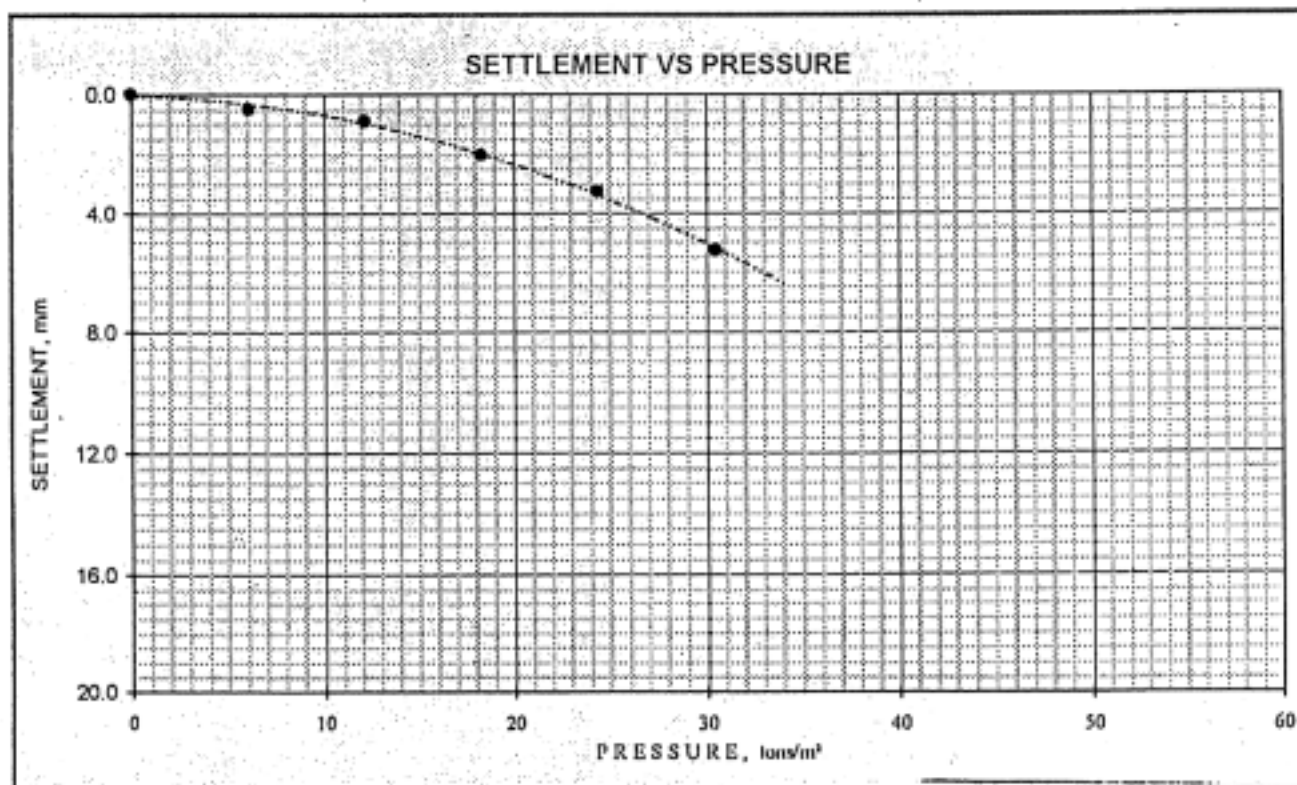
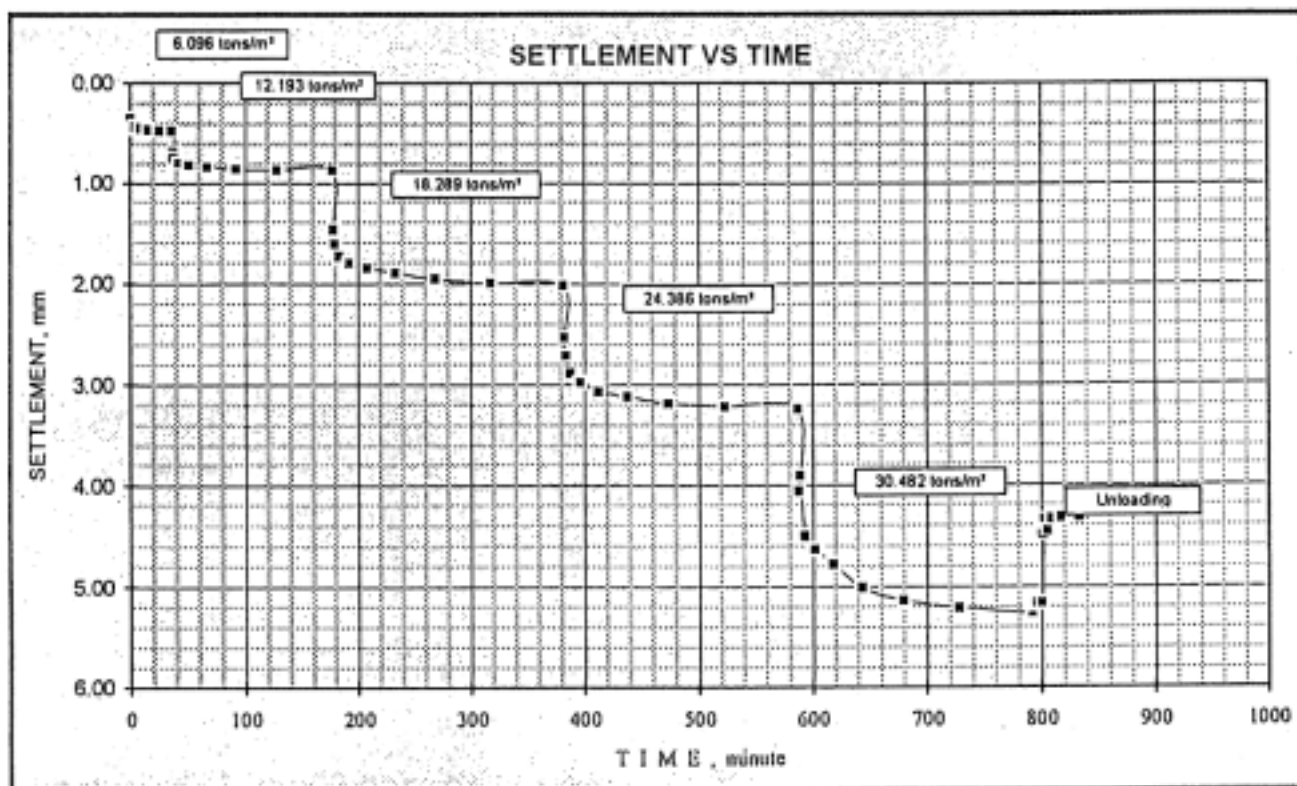
GEOTECHNICS PHILIPPINES, INC.
 118 Soyo Road, Noroncha, Quezon City



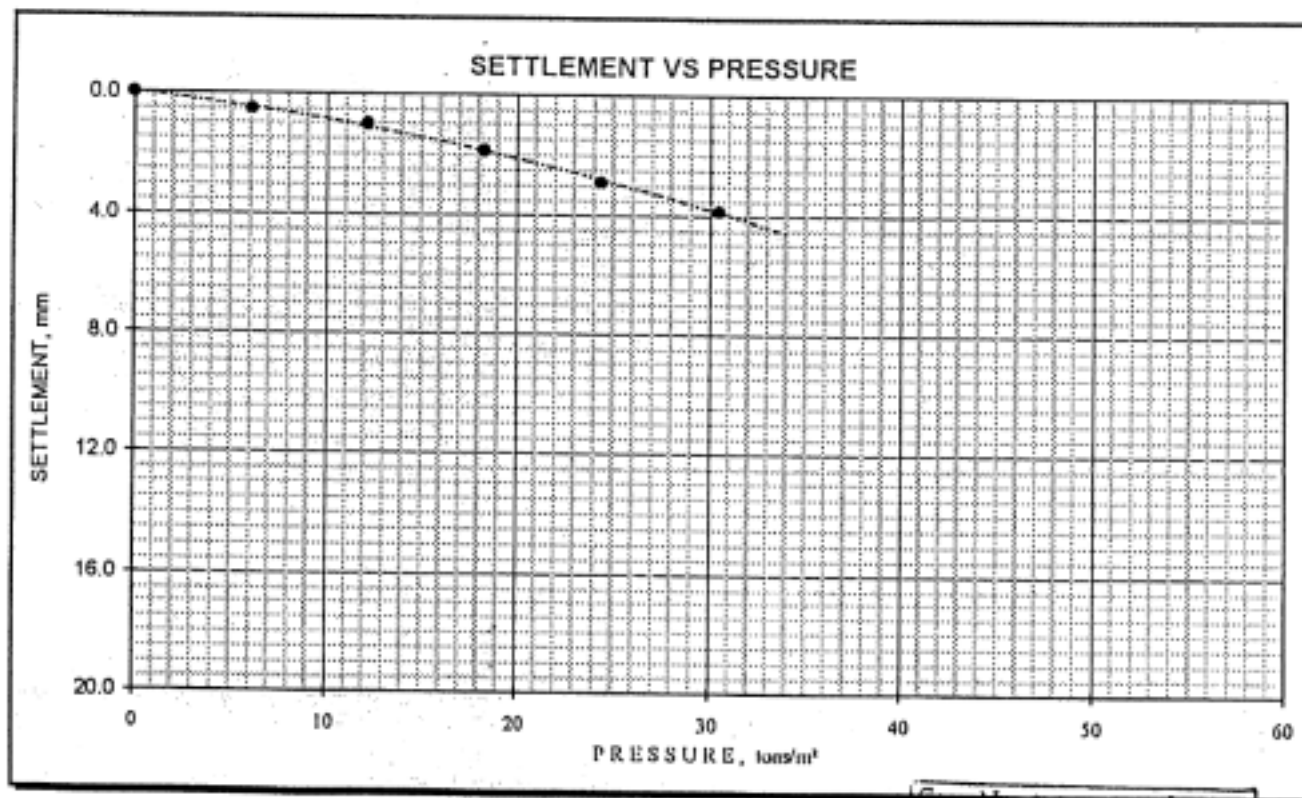
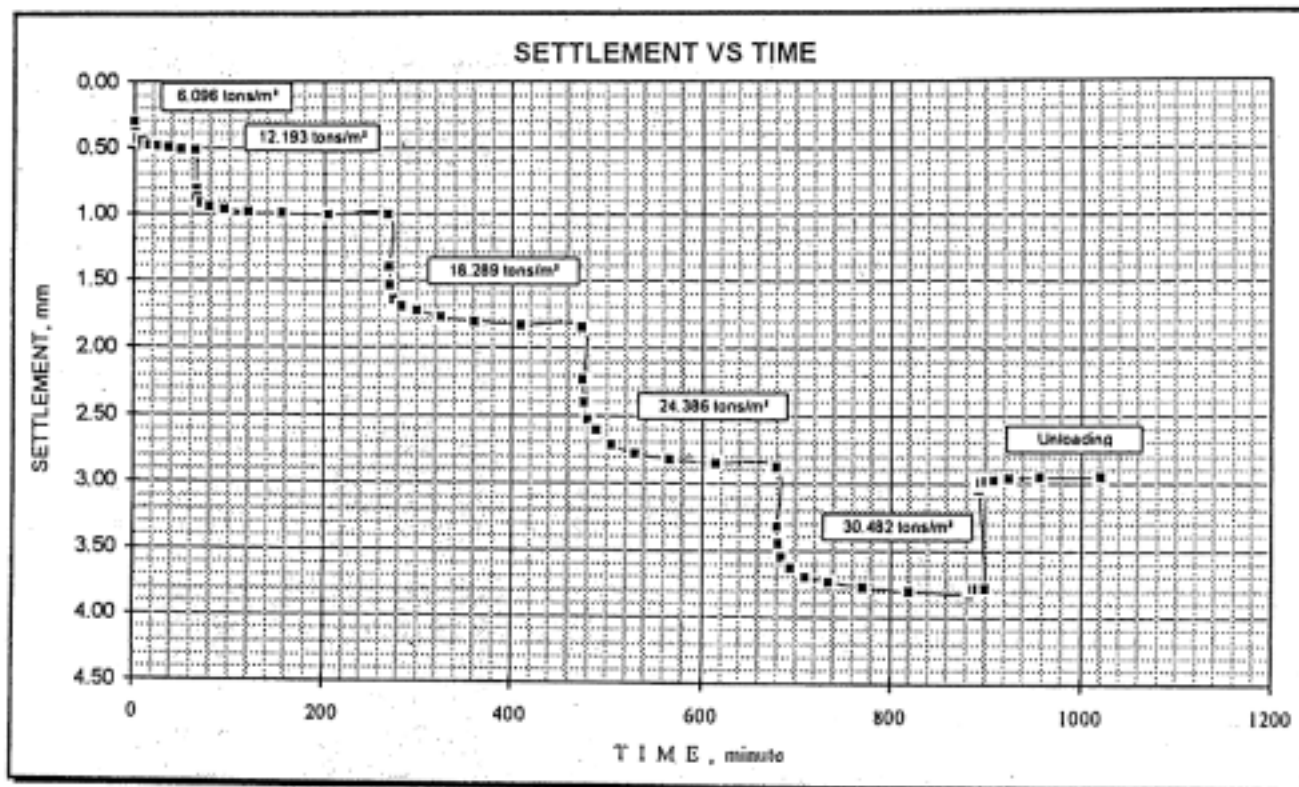


Copy Number	1405
Controlled	<input checked="" type="checkbox"/>
Uncontrolled	<input type="checkbox"/>

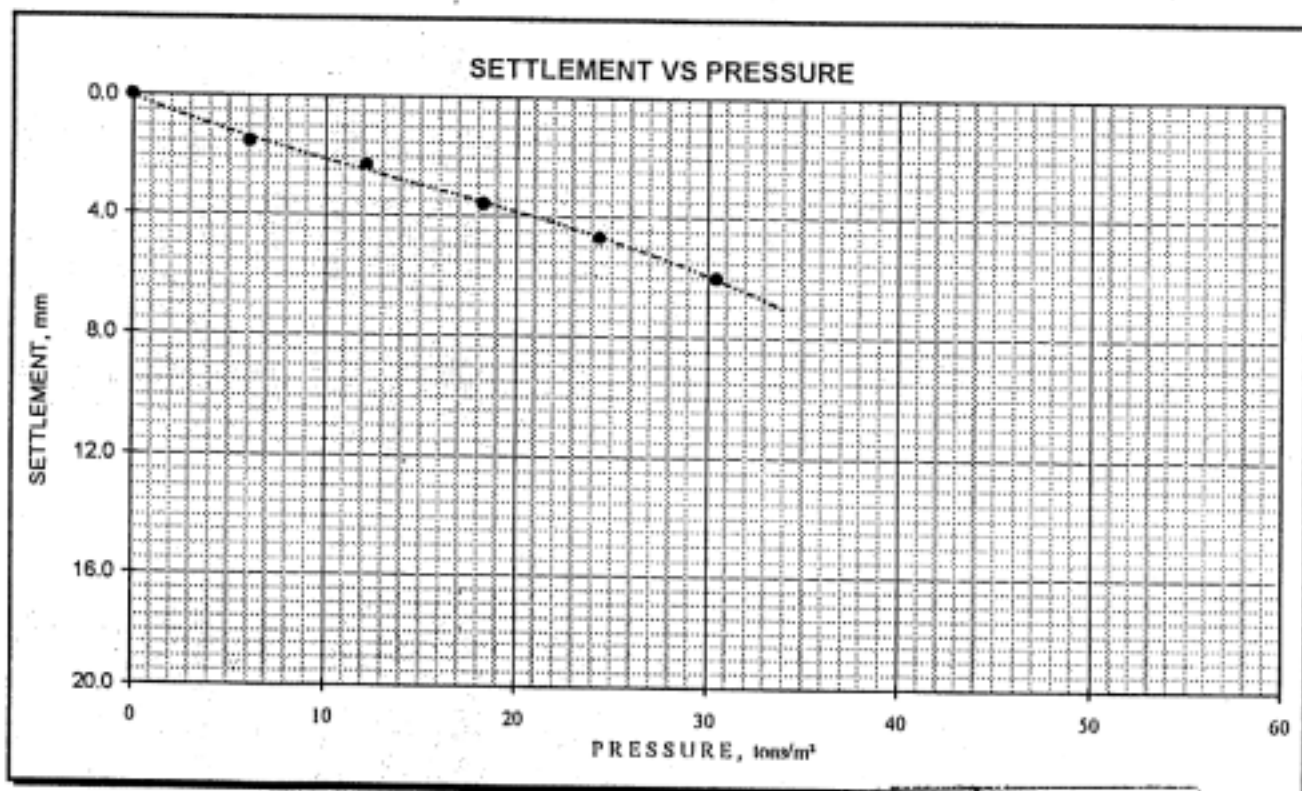
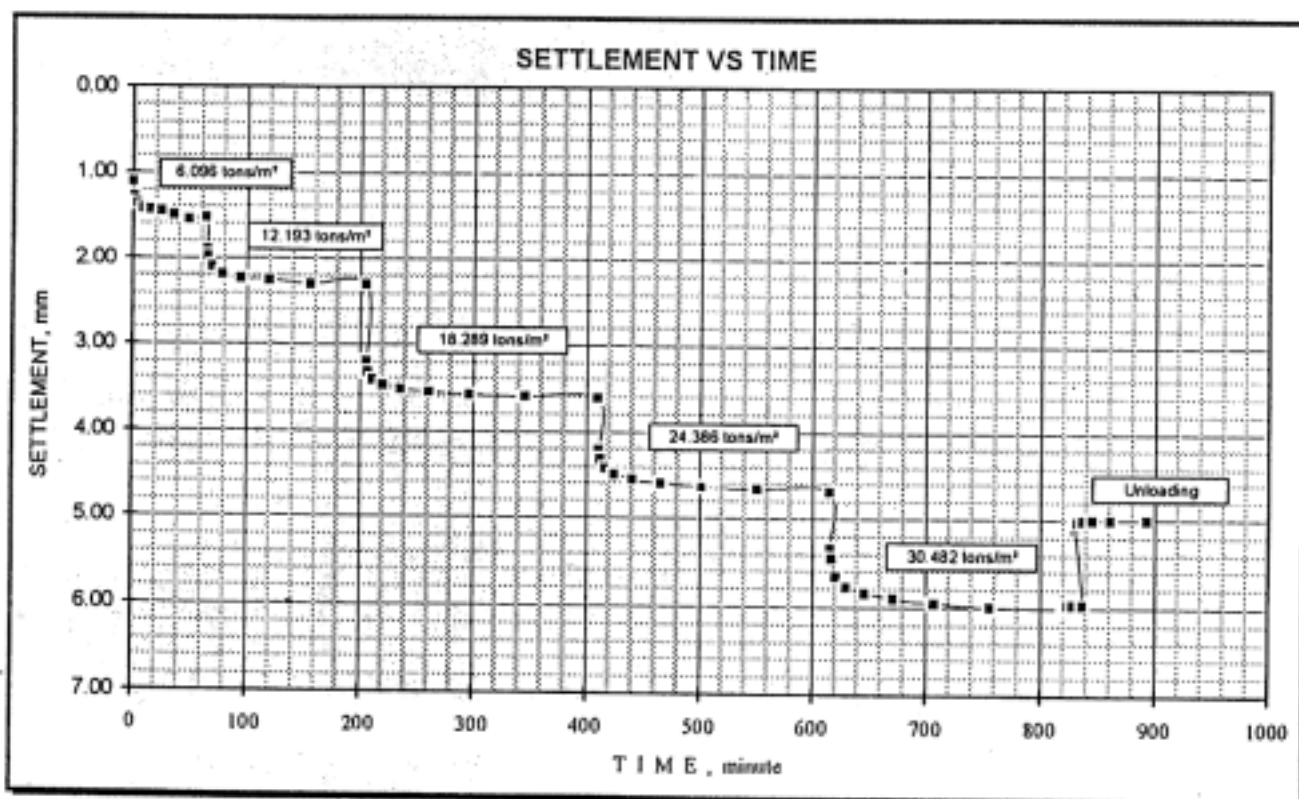
Sheet 1 of 1



Copy Number: 108
 Controlled
 Uncontrolled



Copy Number	0501
Controlled	<input checked="" type="checkbox"/>
Uncontrolled	<input type="checkbox"/>



Copy Number : 878
 Controlled : []
 Uncontrolled : []

資料 6 資料収集リスト

	資料名	発行先	発行年月
1	Medium-term Philippine Development Plan 1999-2004	National Economic and Development Authority	1999 年
2	MakasMASA Fisheries (漁業開発計画) 1999-2004	Bureau of Fisheries and Aquatic Resources	1999 年
3	National Accounts 2000-2001	National statistical coordination board	2001 年 1 月
4	The President's 1999 Socioeconomic Report	National Economic and Development Authority	1999 年
5	The countryside in figures 1999	National statistical coordination board	1999 年
6	2000 Philippine Statistical Yearbook	Bureau of Agriculture Statistics	2000 年 8 月
7	Food consumption of selected Commodities	Bureau of Agriculture Statistics	1995 年
8	Fisheries Statistics 1985-1994, 1993-1997	Bureau of Agriculture Statistics	1995 年 1998 年
9	Fisheries Profile 1999	Bureau of Fisheries and Aquatic Resources	2000 年
10	Seafdec Asian Aquaculture 2000 年	SEAFDEC/AQD	2000 年